

提案団体名： SOMPOリスクマネジメント株式会社(チーム・新宿 事務局)

○提案内容

<p>(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください</p>	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>チーム・新宿は、①ドローンを用いた情報収集、②ドローンに搭載したスピーカーによる遠隔地点からの情報発信、③地域内の主要拠点間の無線LAN網の構築と収集情報の共有、④ドローン撮影画像をもとにした群衆解析等の技術を保有しており、その技術を活用し新宿駅周辺地域を対象に実証実験を実施している(2016年以降、計3回実施)。 その他、2017年度よりドローンを用いた災害後の高層ビル外装材の損傷度の把握の実証実験を行っている。また、メンバーの工学院大学では、SIPで開発した地域の情報共有・発信アプリについても開発し、2016年度から継続して訓練を通じた検証を行っている。</p>	<p>(1)、(6)、(7)</p>
<p>(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください</p>	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>新宿駅西口の高層ビル街に代表される中心業務地区周辺においては、大規模地震等の災害時には地域内の滞留者による大きな混乱が想定される。勤め先等で被災したオフィス勤務者等の身の寄せ所のある滞留者等については、そのままオフィス等で待機することが原則となるが、身の寄せ所のない滞留者については、身の安全が確保でき、かつ地域の復旧活動の支障とならない場所に誘導する必要がある。 しかし、災害時の諸リソースが制約を受ける条件下で、その状況を的確に把握し、状況を踏まえて意思決定を行い、その結果を関係者に伝達することは困難である。その結果、各事業者(建物管理者)の個々の判断となることから、部分最適に陥るおそれがある。 そこで、1)地域の状況を基盤情報として整備、2)災害後に俯瞰的に広域の情報の把握、3)把握した情報を解析し意思決定に資する情報に変換、4)基盤情報と災害時に把握した情報を統合し可視化、5)意思決定後の情報を地域内の任意の場所に周知、6)上記の1～5で必要な情報を災害時に共有するための通信網の確保 等を確立することで、新宿駅周辺地域において全体最適化し運用する仕組みを確立する。</p>	<p>(ウ)防災</p>
<p>(3) その他</p>	
<p>「チーム・新宿」は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、SOMPOリスクマネジメント株式会社、工学院大学、株式会社理経及び新宿区危機管理担当部をメンバーとする、新宿駅周辺地域の有志による組織です。弊社が事務局を担っています。</p>	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
BCMコンサルティング部	金山、北郷、新藤	03-3349-5984	新藤:jshindo75@sompo-rc.co.jp